

東日本大震災の被災経験が社会的孤立と脳形態に及ぼす影響の検討

1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画地域住民コホート調査のうち 2014 年度から 2019 年度に実施した脳と心の健康調査に参加された方

2. 研究期間

研究実施許可後～2028 年 3 月 31 日まで

3. 研究目的・方法

本研究の目的は、東日本大震災被災地域の地域住民を対象として行われている調査のデータから、性・年齢別による過去の被災経験が社会的孤立と脳に及ぼす影響を調べることです。

研究方法は、本研究は東北メディカル・メガバンク機構から提供される情報を使い、性年齢別に社会的孤立の有無による各変数の平均値の傾向や脳の容量を計算します。また、社会的孤立と脳の関係について被災経験（家屋被害や家族の死亡）の影響を受けていないかを調べます。

4. 研究に用いる試料・情報

東北メディカル・メガバンク計画が保有しているデータのうち、MRI 画像解析値（3D-T1WI、DTI、MRA、ASL、FLAIR）や基本情報（性別、年齢、教育歴、既往歴、抑うつ症状、不眠症状、メンタルヘルス、飲酒習慣、喫煙習慣、運動習慣、社会的孤立、ソーシャルキャピタル、就労状況、収入、婚姻状況、同居人数、認知機能検査値、東日本大震災における被災経験〔家屋被災の程度、震災による家族の死の経験の有無、転居回数、居住状況〕）、検体検査データ（血液・尿検査値）、特定健康診査情報（身長、体重、BMI、血圧、問診）を使用します。

本研究で取得した上記の情報は、研究終了後に適切に廃棄いたします。また、上記の試料・情報は、将来別の研究に二次利用する可能性及び他の研究機関に提供する可能性はありません。

5. 研究費および利益相反

研究費は科学研究費助成事業基盤研究(C)「東日本大震災の被災経験が社会的孤立と脳形態に及ぼす影響の検討」を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて調査参加者もしくは調査参加者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも調査参加者に不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 岩手医科大学衛生学・公衆衛生学講座 事崎由佳

〒028-3695 岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目 1 番 1 号

TEL : 019-613-7111 (内線 5458)

E-mail : kotoyuka@iwate-med.ac.jp